

# ケーブルテレビ産業の将来展望

## 目 次

I 総論(関口博正)	
I.1 はじめに	3
I.2. CATVを取り巻く環境の変化	4
I.2.1 通信市場の競争環境整備	4
I.2.1.1 携帯3社に代表されるグループ一体経営への対応	7
I.2.1.2 NGN (Next Generation Network,次世代IPネットワーク)の 更なるオープン化	7
I.2.1.3 NTTドコモに対する非対称規制 (不当な差別的取扱いの禁止等)の一部緩和	8
I.2.1.4 Wi-Fi (Wireless Fidelity)を用いた 光ファイバーへのオフロード促進	10
I.2.1.5 モバイル市場活性化策としてのMVNO振興	11
I.2.2 光卸の実現とその影響	12
I.2.3 メタル電話からメタルIP電話への移行	15
I.2.4 ケーブルテレビ産業の現状	17
II 各論	
II.1 日本ケーブル産業の特徴・特性(大田博樹)	22
II.1.1 ケーブル産業の概要	22
II.1.2 ケーブル産業の発展の背景	23
II.1.3 ケーブル産業の特徴	26
II.1.4 ケーブル産業で提供されるサービス	30
II.1.5 ケーブル産業の特性を活かしたサービスの展開	34
II.2 日本ケーブル産業の将来性と成長余力(大山俊介)	35
II.3 日本ケーブル産業の課題と問題点(大山俊介)	37
II.4 日本ケーブル産業の今後の解決策(関口博正)	39
II.4.1 4K・8Kへの準備	40
II.4.2 ケーブル・プラットフォームの構築・活用	41
II.4.3 放送ネットワークの強靱化・ブロードバンドの 高速化・無線通信の導入	41
III 調査報告(H27.3~H27.12)(関口博正)	42
III.1 沖縄諸島(含、南大東島)	42
III.2 株式会社愛媛CATV、大分ケーブルテレコム株式会社、 並びに(公財)ハイパーネットワーク社会研究所(関口博正)	45